

広島市 みやわきとき お 宮脇時夫氏旧蔵文書 仮目録

広島県立文書館

令和6年(2024)3月

凡 例

- 1 本目録には、広島市 宮脇時夫氏旧蔵資料を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

請求記号 本文書群の群番号は(200713)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 200713/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採った。
年 代 資料に記された出版年月日採った。
作 成 資料の著者と発行者を記した。
形 態 資料の形態を記した。
数 量 資料の点数を記した。
備 考 留意すべき点があれば適宜記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

【文書群概要】

広島市 ^{みやわきときお}宮脇時夫氏旧蔵文書（請求記号 200713）

寄贈者の父親が所蔵していた「漢語訳解普通用文章」。

出所 未詳

出所地名 未詳

分量 1点（1冊）

収蔵までの経緯 平成20年（2008）1月23日に宮脇時夫氏から当館へ寄贈された。父親が所蔵していたもので、入手経路などは未詳。

年代 明治7年（1866）3月

歴史 寄贈者の宮脇時夫氏（1926.4.7～？）は広島市安芸区阿戸町の郷土史家。当館の平成5年度古文書解説入門講座を受講した後、度々当館で調査を行い、平成11（1999）年から平成22年（2010）にかけて『阿戸町郷土史』3冊（原始古代～明治維新、明治維新～太平洋戦争、現代（太平洋戦争終結以降））を自費出版した。

内容 大阪の宝文堂で再刻板行された「漢語訳解普通用文章」1点。編者は小田県井原村（現岡山県井原市）の荻田長三。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2023.9.25 記述／西村 晃）

200713/1

漢語訳解 普通用文章 全
木版

明治 7. 8.

荻田長三著、宝文堂刊

整版・1冊
